

各ブロック会議

【東北・北海道ブロック】

平成19年度 東北・北海道精神保健福祉センター協議会報告

平成19年度の開催は山形県で、有海所長をはじめとする山形県精神保健福祉センターの皆様の運営で、以下のように、東北・北海道ブロックのセンター所長会総会、および職員の事業情報交換会、研究協議会を行いました。

H19年度は役員改選の年で、年度をもって勇退される白澤宮城県精神保健福祉センター所長がブロック会長職を降りられ、新役員を選出しました。

所長会では、事業や予算等の協議のほか、自殺関連事業、退院促進事業、自立支援医療に関わること、今後のセンターのあり方や機能、等々について意見交換しました。

また職員の情報交換会では、日常の事業の進め方について、種々の分野での具体的な意見交換がなされました。翌日は、例年通りに、各センターの研究発表の場をもち、日々の事業や研究を発表し、忌憚のない意見交換を行った有意義な大会でした。

1 総会の開催

日 時 平成19年 6月28日(木)

15:00～17:00

場 所 山形市小白川町2丁目1-10 オーヌマホテル

所長会総会の協議内容

・事業関連

財務、事業計画、役員改選など

・話題提供と意見交換

精神保健福祉センターの今後のあり方

退院促進

広汎性発達障害に対する福祉サービスの支給について

自立支援医療の事務に関して

2 職員事業情報交換会の開催

日 時 平成19年 6月28日(木)

15:00～17:00

場 所 山形市小白川町2丁目1-10 オーヌマホテル

3 研究協議会の開催(別紙参照)

日時 平成19年 6月29日(金)

9:00～12:00

場所 山形市小白川町2丁目1-10 オーヌマホテル

平成19年度東北・北海道精神福祉センター研究協議会プログラム

9：00 開 会

挨拶 山形県精神保健福祉センター

9：05～9：30 座 長 伏見 雅人（秋田県精神保健福祉センター所長）

	演 題	所 属	発 表 者
1	佐呂間町竜巻災害「こころのケア」の取り組み ～精神保健福祉センターの支援経過を中心に～	北海道	千 葉 由 紀 子
2	社会的ひきこもりグループ活動の取り組み ～5年間の総括と今後の課題～	青森県	石 田 大 地

9：30～9：40 質疑応答

9：40～10：25 座 長 黒澤 美枝（岩手県精神保健福祉センター所長）

3	宮城県精神保健福祉センターデイケアにおける近年の傾向と 今後の在り方	宮城県	宍 戸 利 栄
4	思春期・青年期本人の会(青年グループ)の取り組みについて ～事業開始から4年を経過して～	秋田県	木 村 さ や か
5	アルコール家族ミーティング長期参加者の精神健康度	仙台市	齋 藤 佐 知 子
6	精神医療審査会の運営における現状と課題について ～運営事務担当開始から5年を経て～	山形県	渡 辺 祐 子

10：25～10：35 質疑応答

10：35～10：45 休 憩

10：45～11：20 座 長 白澤 英勝（宮城県精神保健福祉センター）

7	岩手県精神保健福祉センターにおける自殺者遺族交流会支援 方法の検討	岩手県	豊間根 美 恵
8	福島県におけるうつ病・自殺予防対策の展開	福島県	味 戸 智 子
9	札幌市精神科救急情報センターの運用経過と課題	札幌市	窪 田 貴 浩

11：20～11：30 質疑応答

11：30 閉 会

【関東・信越ブロック】

平成19年度 関東信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会報告

1 はじめに

本会は新潟県、長野県、栃木県、群馬県、茨城県、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉県、千葉市、埼玉県、さいたま市、東京都（都立精神保健福祉センター、中部総合精神保健福祉センター、多摩総合精神保健福祉センター）と、今年度から新規加入した新潟市の16ヶ所の（総合）精神保健福祉センターで構成されている。

センター業務における技術の向上と情報交換を図り、地域精神保健福祉の推進、連携に資することを目的に年1回開催。平成19年度は神奈川県精神保健福祉センターが事務局を担当した。

2 開催期日 平成19年12月13日（木）～14日（金）

3 会 場 神奈川県総合医療会館

4 プログラム

全体会

テーマ 「自殺対策における精神保健福祉センターの役割について」

～各センターの取り組み状況報告と意見交換～

内 容 特徴的な事業を実施している3県から取り組み状況を報告。

- ・新潟県は、「たった一人のあなたです たった一つのいのちです」のキャッチフレーズのもと、全保健所の必須事業として「地域自殺対策協議会」を設置し、選択事業として「こころのセーフティネット構築事業」を展開している。
- ・群馬県は、医師会との共催により医療関係者研修会を開催。保健所を巻き込み、医師会が毎月行う夜の勉強会に組み込んでもらい開催したため効果的であった。
- ・神奈川県は、労働基準監督署及び産業保健推進センターとの連携により「うつ病休職者セミナー」「職域研修会」を開催。また、都会型自殺予防対策として「ゲートキーパー研修」を開催し、地域の中のゲートキーパーの役割を担う「こころのサポーター」の養成を始めた。

全体会

講 演 「自殺対策と自殺未遂者支援について」

講 師 横浜市立大学大学院医学研究科 教授 平安 良雄

内 容 横浜市大では、救急医療と精神科が協同で救急患者を支援している。また、自殺未遂者には精神科医師も入り看護カンファレンスを行い、退院後は事後確認を精神科医師が電話で行っているが、これが再発予防に繋がっているというお話があった。

分科会及び情報交換会

以下の分科会、情報交換会に分かれ、各センターの現状報告から出てきた課題等について意見交換・情報交換を行った。

分科会 1 「医療観察法への精神保健福祉センターの関わりについて」

関わりには地域による差が大きくバラツキが目立つ。キーワードは情報の共有であり、参加することで自分たちの位置が見えてくる。センターの関わりは年々増加傾向にあり、ブロック会議等で今後も検討を深めていくことが必要。

分科会 「就労支援・社会適応訓練について」

社会適応訓練事業はリハビリテーション目的であることが共有できた。他機関と連携し、精神障害当事者へ多くの選択肢を提供することが必要。地域により予算も違い事業評価も含め、現状は種々様々な課題がある。

情報交換会 「精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療について」

- ・ 苦情や書類の返戻について
- ・ 手帳と医療の同時申請の取り扱い
- ・ ナルコレプシー（睡眠障害）だけ診断名の際の取り扱い
- ・ 診断名が心因反応の場合の自立支援医療の取り扱い
- ・ 申請から受給者証交付までの時間差について医療機関への対応
- ・ 指定医療機関関係
- ・ 年金証書添付申請の取り扱い
- ・ 居住地特例の取り扱い
- ・ 生活保護受給者の申請窓口について

情報交換会 「精神医療審査会について」

- ・ 合議体について
- ・ 退院請求の対応
- ・ 処遇改善請求の対応
- ・ 書類審査に関して

【中部・近畿ブロック】

平成19年度 第1回中部・近畿ブロック精神保健福祉センター長会

日時 平成19年9月7日(金)

14時～17時

場所 愛知県精神保健福祉センター
コミュニティ学習室

1 開 会

2 あいさつ 山下 俊幸 会長(京都市こころの健康増進センター所長)

3 議 題

協議事項について

- 1 災害時のメンタルヘルス - 災害時における現地派遣チームへのかかわりについて - (静岡県)

照会事項について

- 1 自殺予防対策・地域自殺対策推進事業の取り組み状況について (富山県)
- 2 精神障害者退院促進支援事業における精神保健福祉センターの関わりについて (石川県)
- 3 CRTについて、精神保健福祉センターの取り組み及び役割について (石川県)
- 4 精神保健福祉センターにおける自殺予防対策事業の役割について (石川県)
- 5 精神保健福祉センターの受付対応職員(庶務課)から相談係の職員への引継ぎ方等のための研修について (石川県)
- 6 精神障害者保健福祉手帳の所持者(及びその家族)に対するJR等の軽減について(三重県)
- 7 精神障害者施設等に入所している者(児)が、自立支援医療(精神通院)を受けようとする場合の申請窓口について (京都府)
- 8 - 精神障害者保健福祉手帳(以下「手帳」という)の偽造や悪用等が発見された際の警察への告発、被害届の提出等の対応状況及び予防的措置や工夫等について (兵庫県)
- 8 - 紛失による手帳の交付申請の際に、警察の遺失物届受理証明書、本人の紛失に係る理由書など紛失の事実を証する書類の添付を求めているかについて (兵庫県)
- 9 精神障害者退院促進支援事業における精神保健福祉センターの取り組みと役割について (愛知県)
- 10 ひきこもり訪問サポート養成事業について (愛知県)
- 11 自殺対策における他部局との連携事業について (愛知県)
- 12 精神医療審査会で審査する各種報告書(医療保護入院者の入院届他)について (愛知県)

<資料>

- ・和歌山県こころのレスキュー隊事業実施要綱 (和歌山県)

- ・市町の精神障害者保健福祉手帳・優遇措置 (三重県)
- ・医療保護入院届等の記載時の注意事項 (石川県)
- ・医療保護入院届等の記載時の留意事項 (京都府)
- ・「入退院の届出等」の記載の手引き (京都府)
- ・「医療保護入院届」等の作成上の留意事項 (兵庫県)

4 その他

平成19年度 第2回中部・近畿ブロック精神保健福祉センター長会

日時 平成20年2月8日(金)

13時30分～16時30分

場所 ホテルアソシア静岡3階 橋の間

1 開会

2 あいさつ 山下 俊幸 会長(京都市こころの健康増進センター所長)

3 議題

協議事項について

- 1 精神医療審査会の意見聴取時における診療録等の取り扱いについて (浜松市)
- 2 自殺対策における精神保健福祉センター共通の取り組みについて(その1)
全国のセンター『共同キャンペーン』(平成20年度)の実施について (静岡県)
- 3 自殺対策における精神保健福祉センター共通の取り組みについて(その2)
中・長期的な取り組みについて (静岡県)

照会事項について

- 1 精神保健福祉業務の県と政令指定都市における役割と連携について (兵庫県)
- 2 精神保健福祉センターと保健所との相談体制と連携体制について (浜松市)
- 3 自殺対策に向けた人材育成について (石川県)
- 4 自死遺族に対する支援等の取り組み状況について (三重県)
- 5 精神障害者退院促進支援事業における研修内容について (石川県)
- 6 自立支援医療費支給認定事務の「世帯」の所得区分の認定について (富山県)
- 7 精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療費支給認定の更新について (石川県)
- 8 自立支援医療制度の指定医療機関に対する監査について (神戸市)
- 9 精神科病院及び指定病院から提出される各種報告及び入退院届の管理状況について(京都市)
- 10 医療保護入院者(第33条第1項)の入院届に関する同意書、定期の報告に関する遅延理由書について (福井県)

- 11 退院等の請求の審査後における対応について (福井県)
- 12 精神保健福祉法に定められる措置診察に伴う移送について (神戸市)

4 その他

平成19年度 中部ブロック精神保健福祉センター連絡協議会

日時 平成19年7月12～13日

場所 ホテルアソシア静岡ターミナル

参加 三重県、岐阜県、静岡県、福井県、
山梨県、富山県、愛知県、石川県、
名古屋市、浜松市、静岡市

1 開会の挨拶 静岡市保健福祉子ども局保健衛生部長 寺前 泰男

2 参加者自己紹介

3 事務連絡、資料等確認

4 議 事

司会 静岡市こころの健康センター 参事 根本 英行

協議事項

- 1 各センターでの自死遺族に対する取り組みについて (愛知県)
- ### 情報交換事項
- 1 精神医療審査会の開催状況及び審査事案の割り振りについて (岐阜県)
 - 2 精神医療審査会の議事録作成有無と記載内容、情報公開請求があった場合の対応について (福井県)
 - 3 精神医療審査会に対する退院等請求の事務処理について (名古屋市)
受理から通知までの日数
申請受付日と審査会日程
意見聴取の日時決定方法
 - 4 精神医療審査会における入院届、定期病状報告書の審査について (浜松市)
 - 5 精神医療審査会における頻回退院請求者への対応について (三重県)
 - 6 医療保護入院者の入院届、定期病状報告書等、県外等の保健所提出用の処理について (愛知県)
 - 7 自殺予防対策の取り組みについて (山梨県)
地域自殺予防対策推進事業の取り組みについて (浜松市)
職域に対する自殺(うつも含む)対策の実施状況について (名古屋市)
 - 8 精神保健福祉大会について(他事業との関連、主催者表彰、実施にあたっての課題、対応策など) (山梨県)
 - 9 手帳・自立支援医療について(担当者人数、システム等) (山梨県)
精神保健福祉手帳及び自立支援医療受給者証発行事務について (愛知県)
自立支援医療費及び手帳の申請件数、判定会の開催数、事務量増加に対する工夫点について

- (石川県)
- 10 自立支援医療(精神通院)に係る指定医療機関の確認について (三重県)
- 11 精神障害者退院促進支援事業での精神保健福祉センターの関わりについて (石川県)
- 12 精神障害者退院促進支援事業関係者に対する精神保健福祉センターの技術支援や教育研修等の
具体的取り組みについて (愛知県)
- 13 精神障害者スポーツ(ソフトバレー)大会(県レベル)に対する精神保健福祉センターの取
組みについて (愛知県)
- 障害者スポーツ大会の運営及び精神保健福祉センターの関わり状況について (石川県)
- 14 ひきこもり実態調査について (愛知県)
- 15 ひきこもり相談の中で、知的障害を伴わない発達障害と診断されている人の状況について
(石川県)
- 16 外国人の受診援助の際の関わりについて(支援ネットワーク又は支援体制づくりがあるなら入
院時の外国人用告知書の様式、何ヶ国語準備されているか) (石川県)

5 閉会の挨拶 静岡市こころの健康センター 所長 佐野 光正

平成19年度 北陸ブロック精神保健福祉センター連絡会

日時 平成20年3月7日（金）

場所 石川県こころの健康センター

参加 石川県、富山県、福井県

1 開会

2 挨拶 石川県こころの健康センター所長 清田 吉和

3 議題

協議事項について

- 1 自然・事故・人的災害時の支援体制（CRT等）づくりをどのように考えているかについて

（石川県）

照会事項について

- 1 精神医療審査会における喫煙に関する訴えの対処について（福井県）
- 2 国の自殺総合対策大綱策定、さまざまな自殺対策が実施されているところであるが、特に自死遺族支援について、どのように対応されているかについて（富山県）
- 3 普及啓発について（石川県）

普及啓発のひとつであるセンター便りについて、予算・年内の発行回数・配布先等の部数・ページ数等について

普及啓発のパネル・パンフレット・リーフレットについて、どのような物があるか、またどのように活用しているかについて

県民に公開講演会等を行う場合、ホームページ以外でどのような方法をとっているかについて

- 4 自立支援医療費（精神通院医療）支援認定の申請及び精神障害者保健福祉手帳の交付申請の際に提出していただく精神通院医療用診断書及び手帳用診断書の用紙は、「都道府県において作成のうえ、無償で医療機関に配布するものとする。」とされているが、貴県の診断書の配布方法はどのようにされているかについて（石川県）

4 その他

平成19年度 東海ブロック精神保健福祉センター連絡協議会

日時 平成20年3月7日(金)
13時30分～16時30分
場所 愛知県精神保健福祉センター
8階研修室
参加 岐阜県、静岡県、三重県、愛知県、
静岡市、浜松市、名古屋市

1 開会

挨拶 愛知県精神保健福祉センター所長 大重 頼三郎

2 自己紹介

3 情報交換

自死遺族に対する支援事業の開催について (浜松市)
精神障害者退院促進支援事業関係者に対する精神保健福祉センターの技術支援や教育研修等の具
体的な取り組みについて (愛知県)
精神保健福祉手帳と自立支援医療の同時申請の扱いについて (愛知県)

4 その他

東海ブロック精神保健福祉センター連絡協議会の存続等について

【中国・四国ブロック】

平成19年度 中国・四国精神保健福祉センター所長及び同主管課担当者合同会議

日時 平成19年8月30日（木）～8月31日（金）

場所 山口県総合保健会館室

第1日目

【分科会】

分科会A 「ACT」

発表 岡山県精神保健福祉センター

司会 広島県所長

分科会B 「CRT」

発表 山口県精神保健福祉センター 河野

山口県教育委員会学校安全管理室 田原

司会 愛媛県所長

【テーマ別討議】

テーマ別討議C 「自殺対策」 司会 島根県所長

テーマ別討議D 「退院促進事業」 司会 鳥取県所長

テーマ別討議E 「審査判定業務」 司会 徳島県所長

E 1 医療審査会

E 2 手帳

E 3 自立支援医療

回答書・資料交換のみ

テーマ別討議F 「中四国合同会議のあり方について」

テーマ別討議E 「その他」

第2日目

【精神保健福祉センター所長部会】

司会 高知県所長、山口県所長

【主管課担当者部会】

司会 香川県、山口県

【全体討議】

司会 香川県所長、山口県所長

【九州ブロック】

平成19年度 九州ブロック精神保健福祉センター所長会議及び研究協議会

日時：平成20年1月31日（木）・2月1日（金）

場所：長崎こども・女性・障害者支援センター

1 参加

福岡県 佐賀県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県 北九州市 福岡市 長崎県

2 プログラム

第1日目 研究協議会 九州ブロックセンター所長会 懇談会

長崎こども・女性・障害者支援センター等見学 研究協議会

3 研究協議会議題

精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療について

1 - 1	福岡県	・精神保健福祉手帳及び自立支援医療費（精神通院医療）の取り扱いについて
1 - 2	宮崎県	・自立支援医療（精神通院）における「重度かつ継続」の申請について

精神医療審査会について

2 - 1	熊本県	・医療審査会における頻回請求者の取り扱いについて
-------	-----	--------------------------

うつ・自殺対策について

3 - 1	熊本県	・自殺予防対策の取り組みについて 自殺未遂者・自殺者遺族への支援体制の整備 相談を受ける人のスタッフ研修
3 - 2	沖縄県	・うつ対策の取り組みについて（市町村・保健所との連携について）

その他，センターの運営について

4 - 1	佐賀県	・職場のアルコール対策
4 - 2	佐賀県	・本課と現地機関（精神保健福祉センター・保健福祉事務所）との連携について
4 - 3	大分県	・障害福祉サービス事業者のサービスの質の確保，格差是正に向けた取り組みについて
4 - 4	長崎県	・ギャンブル依存症対策について
4 - 5	鹿児島県	・発達障害児・者への支援について

4 資料交換のみ

精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療について

- ・ 自立支援医療費（精神通院）の支給認定申請において、複数の医療機関を認定する場合について（宮崎県）
- ・ 精神障害者福祉手帳及び自立支援医療の同時申請の取り扱いについて（長崎県）
- ・ 自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定における診断書へのてんかんの脳波所見記載について（福岡県）
- ・ 自立支援医療費支給認定等事務について（長崎県）

精神医療審査会について

- ・ 医療保護入院届及び措置・医療保護入院者の定期報告書類審査時における知能障害の判断について（佐賀県）
- ・ 精神医療審査会に関する事務について（大分県）
- ・ 入院届及び定期病状報告書の留意事項（記載要領）について（宮崎県）
- ・ 審査会での書類審査及び関係書類の提出について（鹿児島県）
- ・ 医療保護入院2項入院届，退院届，保護者変更等の事務取扱について（鹿児島県）

うつ・自殺対策について

- ・ うつ病・自殺対策における視覚障害者や児童を対象とした普及啓発用リーフレット等の作成について（沖縄県）

その他，センターの運営について

- ・ 心神喪失者等医療観察法第16条第2項の指定医療機関指定について（長崎県）
- ・ 思春期相談事業について（佐賀県）
- ・ セルフヘルプ活動の支援について（佐賀県）
- ・ 成人の高機能広汎性発達障害者に対する就労支援の取り組み（長崎県）
- ・ 精神障害者の就労支援の取り組み（長崎県）
- ・ 精神障害者退院促進事業における精神保健福祉センターの役割について（鹿児島県）
- ・ 高次脳機能障害者支援について（鹿児島県）

【大都市部会】

平成19年度は、新潟市と浜松市を加えて、18政令市となった。これまで、アクセスの良い東京都立精神保健福祉センターの会議室をお借りして会議を開催してきたところであるが、指定都市が増えるにつれ参加自治体が増え、会議室がやや手狭になった上に、都立センターに一方的にご負担をお願いしてきた事情を改善する必要があることから、19年度下半期からホテル等の会議場を使用することとした。大都市部会には各自治体とも大変前向きに参加し、当該年度は全ての自治体から所長もしくはその代理者の参加が得られた。

大都市の精神保健及び精神障がい者福祉の業務は、その前年度の改革ビジョン・グランドデザイン体制の完全実施を受けて、ますます複雑化・困難化したが、障害者自立支援法においては、大都市特例が部分適用されることとなったため、都道府県と政令市の関係に変化が現れている。このことから、都道府県型のセンターと政令市型のセンターとは、背景となる地域事情が異なるばかりではなく、その機能も微妙に異なってくることになる（例えば、19年度第1回部会の照会事項（8）退院促進支援事業については、当然に都道府県と政令市では関わり方が違ってくる事情を受けたものであった）。

つまり、最近の事情によれば、「大都市特有の問題」は、「隣接自治体」である道府県との協議・調整によるより、離れてはいても他の圏域にある政令市との情報交換・協議によるほうが、懸案事項の解決に結びつきやすいこともあり得る。ブロックにおける情報交換や協調の意義は少しも低下するものではないが、大都市部会の存立意義はいや増しに高まっているものと言える。

なお、第2回には、事前調整した議題にはなかったものの、本庁との関係のありかたについての意見交換が行なわれた。このあたり、「互いに顔の見える関係」となった所長らの、信頼関係に基づく自由闊達な意見交換が促進されていることを示すものである。

大都市部会では、こういった大都市の「距離を超えた横のつながり」を大切にしている。その成果は単にそれぞれの自治体に還元されるばかりでなく、巨大都市における複雑困難な精神保健福祉業務を円滑に推進するという観点では、我が国全体の精神保健福祉の向上に大きく資するものと言っても決して過言ではない。

平成19年度第1回

日 時：平成19年7月26日（木）14時00分～17時00分

会 場：東京都立精神保健福祉センター

出席者：築島所長（札幌市）、岡崎所長（仙台市）、黒田所長（さいたま市）、渡邊所長（千葉市）、益子所長（東京都立）、伊藤所長、岡部課長補佐（川崎市）、白川所長（横浜市）、福島所長（新潟市）、寺田参事（静岡市）、片桐副所長（浜松市）、奥田所長（名古屋市）、山下所長、加賀山次長（京都市）、古塚所長、田中係長（大阪市）、松村所長（堺市）、柿本所長（神戸市）、衣笠所長（広島市）、三井所長（北九州市）、西浦所長（福岡市）

当番市：大阪市

照会事項

- 障害福祉計画における、退院可能精神障害者の削減目標について
- 政令指定都市市長が措置し、市外の県域病院に措置入院している患者から「退院等の請求」を受け付けた後に、審査手続き途中で医療保護への入院形態の変更が行われた場合の対応について
- 精神医療審査会（全体会）の開催状況について
- 精神障害者保健福祉手帳用及び自立支援医療（精神通院）用診断書の病名の記載について
- 職域における（働いている人のための）自殺対策について
- 精神障害者とその配偶者が離婚調停中の場合の医療保護入院の同意について
- 自立支援医療費制度における事務取扱について
- 退院促進支援事業と精神保健福祉センターの役割

平成19年度第2回

日 時：平成20年2月21日（木）13時30分～16時30分

場 所：全国都市センターホテル704会議室

出席者：築島所長（札幌市）、岡崎所長（仙台市）、黒田所長（さいたま市）、渡邊所長（千葉市）、益子所長（東京都立）、伊藤所長、岡部課長補佐（川崎市）、白川所長（横浜市）、福島所長（新潟市）、寺田参事（静岡市）、白川所長（浜松市）、奥田所長（名古屋市）、山下所長（京都市）、古塚所長（大阪市）、松村所長、宮川主幹（堺市）、古川副所長（神戸市）、衣笠所長（広島市）、三井所長（北九州市）、西浦所長（福岡市）

当番市：堺市

協議事項

1. 大都市の精神科救急システムに対する精神科診療所の関与のありかたについて
2. 警察とのやりとりに関して（警察との良好な協力体制構築に向けて）

照会事項：

1. 自立支援医療（精神通院医療）の自己負担額の算定にあたり、保険証のカード化による世帯の確認について
2. 定期病状報告書の「症状の経過」欄と「今後の治療方針」欄について
3. 医療保護入院者の入院届及び定期病状報告書における精神保健指定医の署名欄は、記名押印で代用することを認めているか
4. 任意入院の開放処遇制限が漫然と行われることがあるが、何を持って「漫然」と判断されているか
5. 災害時のこころのケアについて、政令市と都道府県との間での連携について

その他（意見交換）：

市の精神保健福祉業務実施体制における、精神保健福祉センターの機構上の位置づけについて